

十勝文化団体協議会

文化賞

受賞

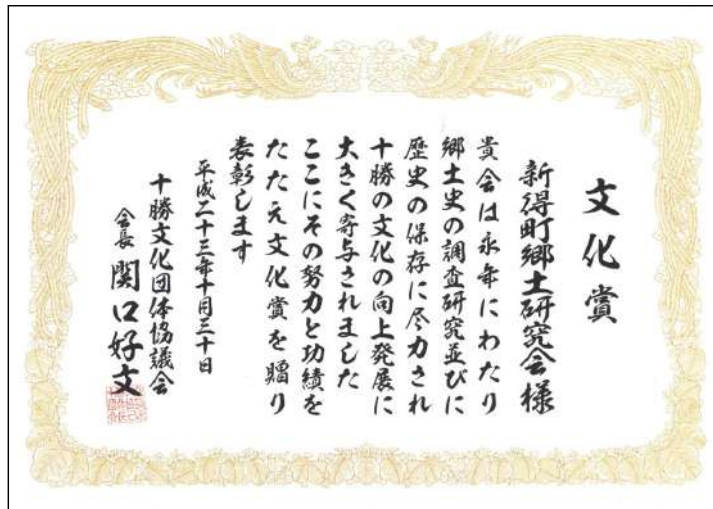
十勝文化団体協議会（会長関口好文）の平成二十三年度「文化賞」に当会が選ばれた。授賞式は十月三十日午前十時から新得町公民館で行われ、関口協議会会長より安倍会長に賞状と顕彰盾が贈呈された。

会は二十三年（二〇一一）十一月に創立三十周年を迎え、節目の記念すべき年に「文化賞」を受賞したが、この評価を契機としてあらためて郷土研究の原点に立ち返り内容の伴う独自の活動の展開と諸課題の解決に向け新たな一歩を踏み出したい。

なお、「文化賞」の協議会の受賞者紹介内容は次のとおり。

昭和五十六年に会員八名と会長野呂己之松氏のもとに発会し、新得町の開拓が今日に亘る歴史的な史料・資料の調査から収保存及び伝承を三十年に亘り行っています。

また、研究誌「郷土」、「新得町開基九十年開拓の足跡」、「昔ばなし」、「しんとく」の史跡、「ふるさとの伝承」など自主的な調査研究を刊行物として発行するほ



副賞「ブロンズ盾」（高さ二四cm―台座含む）



か、教育委員会事業の協力や町の史跡として十五ヶ所に標柱を設置し、十九ヶ所に由来板を建立するなど新得町の歴史保存のために多大な活動を行い貢献されてこられました。

このような長年にわたる活動は、地域の文化の向上発展に大きく寄与するものであり、文化賞を贈り顕彰するものです。

また、新得町文化連盟の「文化賞」候補者推薦（上申）書内容は次のとおり。

今年で創立三十周年を迎えた新得町郷土研究会は、新得町の開拓から今日に至る歴史的な史料・資料の調査、収集、保存及び伝承を行っている。自主的な調査研究を刊行物にして発行するほか、新得町教育委員会事業の協力、助言や提言など幅広い活動を行うとともに、町の史跡として十五ヶ所に標柱、十九ヶ所に由来板を建立するなど一貫して歴史保存のために積極的な活動を行っている。

これら地域の文化振興に貢献した功績は誠に大である。

十勝文化団体協議会

十勝の全市町村の文化団体によって組織する団体で、昭和四十六年（一九七一）に十勝文化連盟」として設立、六十二年（一九八七）に現在の団体名に改称されている。郷土芸術祭や文化の集いなどの開催、文化賞の設置などで十勝管内の文化団体の交流を深めている。初代会長は清水の及川盛。

詩吟の石沢さん(鹿追)と
新得町郷土研に文化賞

鹿追町 新得町
鹿追詩吟愛好会に入会。83年に同会会長に就任し、詩吟の普及発展に力を尽くしてき



新得町郷土研究会
(安倍範夫会長、会員
17人)は81年に発足。
新得町の開拓から今日

に至る史料などの調査や収集を行ってきた。また、研究成果を「郷土」「昔ばなし」などとして出版している。

文化功労賞には新緑短歌会会長の石本洋さん(85)、芽室町文化協会元会長の久保一光さん(81)、音更バレー研究所代表の米谷善美さん(74)の3人が選ばれた。また、文化奨励賞はつがる三味線石里会(帯広市)、文化逸賞は現代アートの東京こすえさん(41) 帯広市、バレーの前塚塚市、バレーの理子さん(30) 芽室町が受賞した。贈呈式は30日午前10時から新得町公民館大ホールで開かれる。(高尾晋)

石沢さん（詩吟）
新得郷土研に

功勞賞は石本さん久保さん米谷さん

[illegible]

くみ取り、貯する
難しさと楽しさに
引かれた。一個人
として修業に励
み、健康増進の一
い」と話した。

端にもなる時吟を
多くの人に伝えて
いきたい」と断ん
だ。

新潟町郷土研究
会は81年に、野呂
巳之吉墓を授け8
人で発定。町の開
拓や歴史的資料
の調査や収集、保
存や発行をして
きた。今までの
伝承一な研究誌

十勝毎日新聞
(平成23年10月13日)

提供写真は、「新得小学校林地之碑」
周辺整備作業従事中の会員
(平成23年9月22日撮影)

北海道新聞 朝刊
(平成23年10月14日)



平成14年5月 バッタ塚



平成18年5月 富村牛神社



平成15年8月 拓鉄屈足駅



平成18年10月 狩勝高原

史跡等巡回活動ほか